

『地域経済の中の会員制ビジネス』

～スマート・ストア構想とは！～

インターネット関連事業が急成長する中で、リアルショップによるサービス業は、人手不足もあって労働生産性の低さが指摘されている。

一方で政府は、我が国の経済が持続的な成長を続け、地方経済を再興するにはサービス産業の生産性向上が不可欠として、「サービス等生産性向上IT導入支援事業」を打ち出している。

書籍販売、中古を含むレンタル複合店は、万引対策によるロス削減に取り組むと同時に新たな需要の創造のために、IT導入によってサービスイノベーションを基礎とする「スマート・ストア」構想に取り組むべきであると考えます。

その軸となるのが、「会員制ビジネス」である。多くの顧客情報をIT導入によってさらに深化させ、それを地域経済に活用する方法を見出すべく、そのヒントをパネリストの議論によって浮き彫りにする。

- (例)
- ・顔認証カメラによるロス改善
 - ・POSによるフロント対応
 - ・地域他店舗への顧客信用情報の活用
 - ・無人レジ、商品管理の効率化
 - ・インターネットサービスとの連携

【パネリスト】

・内田 隆 氏

(経済産業省 商務・サービスグループ サービス政策課 サービス政策企画調整官)

・阿部 尚行 氏

(内閣官房 文化経済戦略特別チーム 参事官補佐)

・越智 康雄 氏

(グローリー株式会社 生体・画像認識事業推進統括部 営業推進部 マネージャー)

**入場
無料**

(先着100名)

日時 2018年 **6月26**日(火) 15時30分～17時30分

会場 **ホテルグランドアーク半蔵門 3F 「光」**
東京都千代田区隼町1番1号

*ご出席を希望される方は、別紙の申込書に必要事項をご記入の上、組合事務局までFAX (03-3234-8859) にてお申込みください。

お問い合わせ先：日本IT・外ディスプレイ・ビジュアル商業組合 (CDV-JAPAN)

TEL 03-3234-8824 メール：info@cdv-j.or.jp